

米長期金利上昇で揺れる米国株の行方は？



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 米長期金利上昇に警戒強める米国株

米長期金利の上昇が続いています。28日に米長期金利は一時4.68%と、07年10月以来となる高水準にまで上昇（価格は下落）しました（右上図）。FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めが長期化するとの見方や、米連邦政府の予算案が月内にまとまらず、政府機関が閉鎖すると懸念が強まっていることが、その背景といえます。

市場では米長期金利の一段の上昇が、米経済の成長抑制や米国債と比べた米国株の相対的な割高感につながるの見方があるほか、信用収縮を招く要因になるとの警戒もあり、足元で米国株は調整基調にあります（右上図）。

ポイント② 米経済・企業業績・クレジットを注視

もっとも、米長期金利の上昇は米経済の堅調さの持続を表していることも多く、S&P500種株価指数の12ヵ月先予想EPS（1株当たり利益）の拡大基調が続いている局面では、米国株の上昇は継続する傾向があります（9/19付レポート「米長期金利上昇は米国株の逆風となるのか？」参照）。現在のところ米経済は良好な状態にあるとみられることや、米企業業績も来年に向けて増益予想であることを考えると、米国株は今のところは米長期金利の上昇に耐えられる状態にあると考えられます。また、信用リスクを表す米レバレッジドローン（信用力の低い企業向け融資）は価格が上昇基調にあり、米ハイイールド債（低格付債）スプレッドは縮小傾向が続くなど、クレジット市場は平穏を保っています（右下図）。

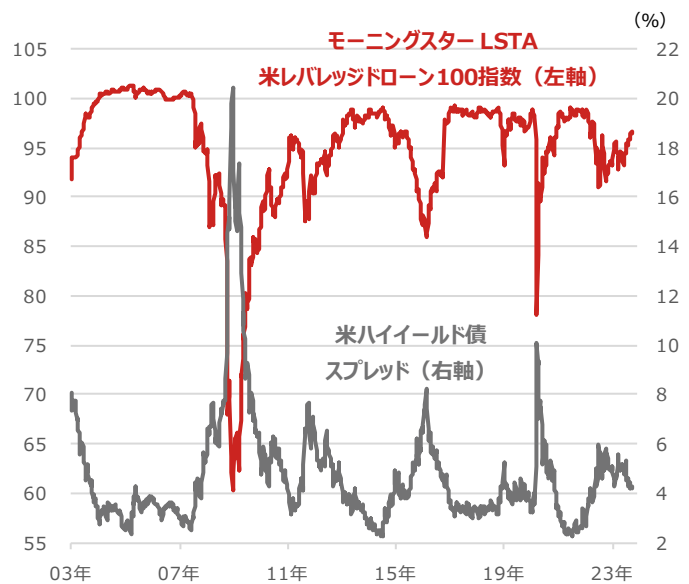
FRBによる高金利政策が長期化するとみられるなか、当面は米国の経済や企業業績、クレジット市場の動向に目配りをして、投資を行なっていくことが肝要といえそうです。

S&P500種株価指数と米10年国債利回り



期間：2003年1月3日～2023年9月28日、週次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米レバレッジドローン100指数と米ハイイールド債スプレッド



期間：2003年1月3日～2023年9月27日、週次
・米ハイイールド債スプレッドは米10年国債利回りの差、CSI BARC Indexを用いた
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。